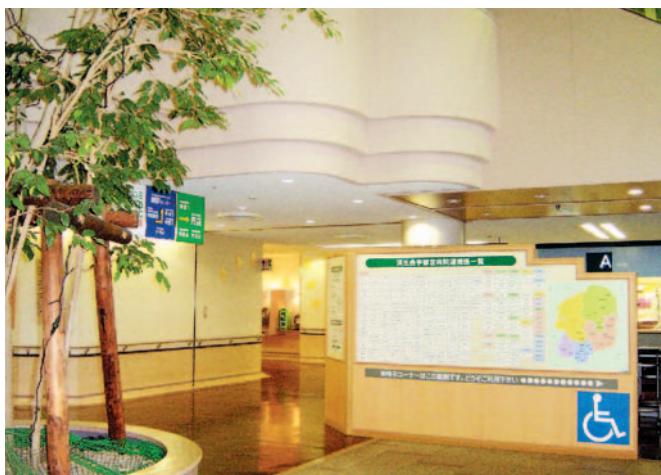


病院をさかえるひとびと

病院の主な目的は病の治療。そして病院という場所には、その治療をさまざまなかたちで支えているひとびとがいます。



↑1階エントランスホールに連携医療機関を掲示しています。



↑連携医療機関の情報が掲載されたリーフレットは総合案内でお渡しすることができます。

地域における各医療機関の専門性や特性、および患者様の症状について、身近な地域で患者様の症状に適切な医療を効率よく受けられるよう今後も努力していくことを考えております。

● 医療相談業務
患者様ご自身はもちろん、ご家族にも生じる様々な悩みや問題を解決できるよう専門の職員（医療ソーシャルワーカー）がご相談に応じます。
例：医療費等の経済的な不安に関する相談、退院後の生活に関する相談等



済生会宇都宮病院では、「連携医制度」により、診療所の先生方と連携して、より充実した医療を提供できるよう努力していきます。

「病診連携」ができることがあります。各医療機関がお互いに連携することによって患者様に安心と満足を提供すること等を業務としています。

私たち地域連携課は、より良い病院連携となります。各医療機関が患者様に安心と満足を提供すること等を業務としています。

病診（病）連携とは、「病院」と「診療所」もしくは、「病院」と「病院」が連携して患者さんの診断治療にあたるということです。これは、地域の医療機関が相互に連携することによって、個々の患者さんを総合的かつ継続的にケアし、真に患者さんのための医療を目指すものです。

主な業務の紹介

● 地域連携業務
他施設（病院や診療所等）からの紹介患者様が適切に診察できるように致します。当院から他施設への受診等の調整をいたします。連携医制度により、他施設との情報交換を密にし、より良い病診連携を実施いたします。

今回の人々
地域連携課